

「令和4年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.1)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和4年6月13日～17日（5日間）

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

農業法人への就職を考えているAさんと、自分の農地の活用に向け、栽培技術を学びたいBさん。

お二方とも、「農業を始めたい人の相談会」（ジョブカフェいわて）等の就農相談会で本研修を紹介され、実際の農業現場を体験したい！と申込みいただきました。

■ 研修先の概要

約900戸の地域農家が設立した日本最大級の集落営農法人です。水稻・小麦・大豆・加工用トマト等を栽培し、その経営面積は約980ha。作業体験やお手伝いの希望者を受入れるなど、農業に興味・関心のある方と地域とのつながり作りを支援しています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

小麦の抜き穂（病気になった穂や、異品種の穂を探して抜き取る作業）、タマネギの収穫、ズッキーニの定植、りんごの摘果のほか、経営ほ場の見学、就農に向けたガイダンスなど

■ 研修の感想

- ・ 農業経験がほとんどありませんでしたが、従業員の方々の丁寧な指導により、楽しく作業に取り組むことができました。小麦の抜き穂作業が1番大変でしたが、「農業には地道でキツイ作業がある」、「キツイけど、大事な工程なので避けて通れない」ということを、身をもって学ぶことができました。
- ・ 様々な作目に触れられたことが刺激となって、農業への関心が更に高まりました。

■ 今後の目標等

Aさん：農業法人への就職を目指し、今後の就職活動に力を入れたいと思います。

Bさん：栽培技術や知識をもっと身に付けたいので、来年度の「いわて新農業人チャレンジファーム」（当社が行っている1年間の農業基礎研修）を受講したいです。

